

自然教育園見ごろ情報

2026年7月2日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

ヤマユリが
咲きはじめました!



水生植物園で
見られます

ヒメガマ

上部に雄花群、下部に雌花群がつき、その間に緑色の軸が見えます。雄花群は花が終わると脱落し、雌花群が残り、実になります。



ツルニガクサ

淡紅色の花はシソ科の特徴である唇形です。つる植物ではありませんが、地下で茎を伸ばして増える様が「つる」のようで、草に苦みはないが薬効があるため「ニガクサ」の名がついています。



ツルニガクサの花



ヤマユリ

日本固有のユリ。観賞価値が高く、庭植え、切り花として栽培されます。1862年にイギリスで紹介されると、ヨーロッパで熱狂的に受け入れられ、明治・大正時代には外貨獲得に大きく貢献しました。



武蔵野植物園や
水生植物園で
見られます



ノカンゾウ

野原や堤防などのやや湿った場所を好む植物で、橙赤色の花が群生する姿はととてもきれいです。若葉は甘みがあり、食用となります。花は早朝に開いて1日でしぼみます。園内では、八重咲のヤブカンゾウもみられます。



ヤブカンゾウの花



オオバギボウシ

大葉擬宝珠（おおばぎぼうし）は、葉が大きいことが名前の由来。擬宝珠（ぎぼうしゅ）とは、橋の欄干につける装飾品のことで、これと花の蕾がよく似ています。



擬宝珠



ヤブミョウガ

食用になるミョウガ（ショウガ科）と葉が似ていて、やぶに生えることが名前の由来。ツユクサの仲間で、真っ白な花は、見ただけで涼しげです。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園

~園内で見られるトンボたち~



オオシオカラトンボ♂

体は青色、複眼は黒色。ローブや草によく止まっている。



シオカラトンボ♂

オオシオカラトンボと似るが、体は薄い青色で、複眼が青い。



コシアキトンボ♂

腹部の一部が白く「腰のところ」が空いているように見えることが名前の由来。



ショウジョウトンボ♂

頭から腹や足先まで真っ赤。赤くないのは透明な翅だけ。